

2015年度 日系企業進出調査の結果概要（オハイオ州） （2015年10月1日時点）

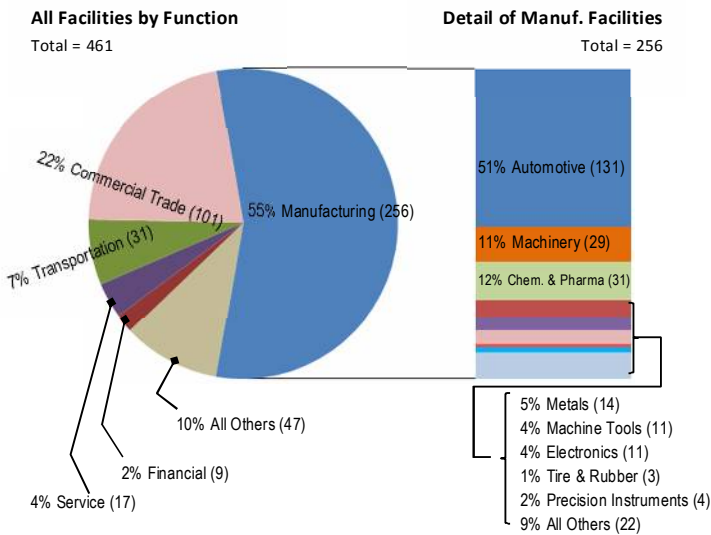
在デトロイト総領事館では、毎年、管内における日系企業の進出状況等について調査を実施しています。2015年10月1日時点のミシガン州についての調査結果は以下のとおりです。

（注）調査対象を日本企業の出資割合が10%以上の事業所に限定しているため、フランチャイズ店舗のデータは含まれておりません。

1. 事業所数

2015年の日系企業の事業所数は461カ所で、日本は最大の海外投資国です。事業所の55%（256カ所）は製造業関連であり、うち51%（131カ所）は自動車関係となっています。商取引関係は製造業に次いで多く、22%（101カ所）となっています。

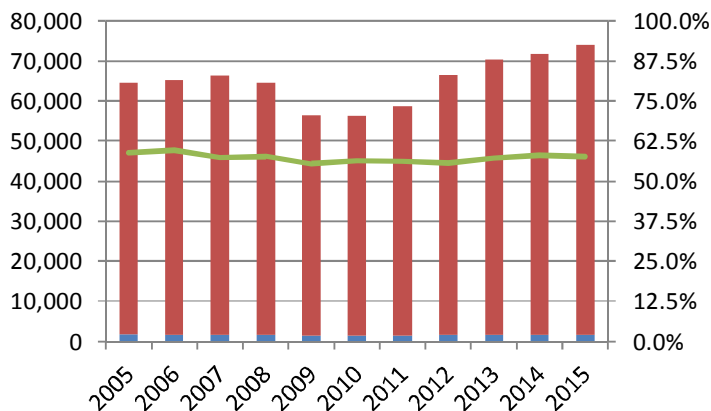
Figure 1: Japanese Facilities by Sector



2. 従業員数

日系企業の総従業員数は73,913名であり、うち98%が現地採用職員と非常に高い現地雇用水準となっています。

Figure 2: Long-term Japanese Employment Trends



NOTE: The blue portion of the columns indicates the number of Japanese staff; the red portion, American staff. The green line marks the total percentage of manufacturing employees.

3. 事業所の地域分布

州内事業所は、コロンバス市を中心とした中部地域、シンシナティ市を中心とした南西部地域、クリーブランド市を中心とした北東部地域に比較的集中しています。

Figure 3: Japanese Investment by Region (Top Counties)

Region	Facilities	Total Employees	Manufacturing Employees
Central	137	30,008	15,595
▪ Franklin County	85	5,809	2,135
▪ Union County	14	9,070	4,101
Southwest	101	6,795	2,862
▪ Hamilton County	54	2,378	586
Northeast	96	7,065	2,876
▪ Cuyahoga County	45	2,136	419
Northwest	46	9,889	7,481
▪ Hancock County	9	2,685	1,966
Western	72	18,961	13,215
▪ Montgomery County	16	3,029	2,030
Southeast	9	1,195	655

4. 在留邦人数

2016年1月時点の州内の在留邦人数は13,016名で、大部分が中部地域に居住しています。

Figure 4: Japanese Population (Top 5 Cities)

